

地域活動と安心安全 のまちづくり

— 中間報告 —

現状と課題①

- 各種団体、自治会を中心にした活発な地域活動
 - ・自治会連合会、社会福祉協議会の活動が活発
 - ・ボランティア活動にも積極的、潜在的な意欲も高い
 - ・元気なお年寄りが多く、マンパワーが豊富
 - ・学校と地域が連携した子どもの見守り活動が活発

現状と課題②

- 若い世代の自治会加入率の低下と担い手不足
 - ・集合住宅に住む世帯は、自治会に入ってもらいにくい
 - ・共働きの子育て世帯など地域活動にかかわりにくい
 - ・地域とかかわりを持つ機会が少ない
 - ・次世代を担うリーダーの不足
 - ・消防団員の不足

現状と課題③

- 地域住民の高齢化と孤立化
 - ・子どもやご近所からの高齢者世帯の孤立
 - ・介護老人ホームなど入所施設の不足
 - ・歩いていけるお店が減りつつあるなど、高齢者にとって暮らしにくい生活環境
 - ・交通安全や防犯に対する不安の増加

課題解決のヒント

- 子ども見守り隊や防災訓練など学校を拠点にした活動の実施
 - 自治会活動を若い世代も含めていろいろな人に活動を見てもらえるので、活動を知ってもらうきっかけになる
 - PTA役員から自治会の担い手へ
- 地蔵盆やお祭りなど、子どもの頃からの地域活動への参加
 - 「地域愛」や「地域とのつながり」を持つきっかけになる
 - 親世代も地域とのつながりができるきっかけになる

目指す方向性

- 高齢者が地域で生きがいをもって、自立して暮らせる環境づくり
- 子どもからお年寄りまでが、“つながり”を持った地域づくり
- 新たな担い手を確保し、育成するしくみづくり